月刊冷泉荘 2024
1月号 vol.166
・column REIZENSOU
・1月、2月のイベント情報

お問い合わせ先

〒812-0026
福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
（11:00～19:00, 火曜定休）
電話/FAX **092-985-4562**
mail **yj@tenjinpark.com**
https://www.reizensou.com/
【SNS】
X（旧Twitter）, Instagram, Facebook
@reizensou
冷泉荘YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/@reizensou_hakata

―― 冷泉荘 交通アクセス ――

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から上川端商店街を通り、キャナルシティ博多方向へ。「博多ラーメンはかたや」と「うどんウエスト」の間の道を冷泉公園側に曲がり、博多消防署冷泉出張所手前の小道を入ってすぐ。（＊駐車場なし）

リノベーションミュージアム 冷泉荘とは・・・

ビルストック文化の学び合い、そして発信の場

博多区上川端町で築65年を迎えた昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす（ビルストック活用）」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。

cover model

B35号　ハッピネス旅行社

ハッピネス旅行社は、完全予約制対面での「ハネムーン相談」にこだわります。一生に一度の旅を安心・安全、思い出に残るものとするために「旅の相談」が出来るスペースとしてここ「冷泉荘」に開設致しました。同時にIT手段も積極的に活用しお客様の便宜と業務の効率化に取り組んでいきます。

http://happiness-travel.jp

ハッピネス旅行社

冷泉荘入居者紹介

5F
- A51 TETRA + GRAPH テトラグラフ写真室
- A53 nano Architects 倍濃設計研究所
- B54 冷泉荘 当初部屋
- B55 ドネルモ

4F
- A41 田中勇気博多人形工房
- A42 TETRA + GRAPH テトラグラフ図書室
- A43 マサカノ［企画・制作会社］
- B44 tripinsight［外国人向け旅行会社］
- B45 ドネルモ［NPO法人 ドネルモ］

3F
- A31 gallery kominkan 港民館 ギャラリー港民館
- A32 そらいろのたね Belle et Claire［色彩心理］
- A33 GAKUEN SALON 楽研サロン［限定Bar&Office］
- B34 Laulea yoga pilates studio［ヨガ&ピラティス］
- B35 ハッピネス旅行社

2F
- A21 Hibikino Denshi［人工知能/センサー開発］
- A22 ［韓国語教室］ソニ
- A23 食道 よっちゃん 屋台的空間で和食を楽しめるお店
- B24 shoe lab noppo［注文靴・靴作り教室］
- B25 まちづくり屋さん［地域政策企画・サポート］

1F
- A10 Hibikino Denshi
- A11 RILL BAGEL［ベーグル専門店］
- A12 リノベーションギャラリー 冷泉荘事務局
- A13 そらいろのたね［こどもアートアトリエ］
- B14,15 2コ1多目的スペース
- B14-2★ 冷泉荘ギャラリー
- B15-2★ よりあい読書室

地下へ
- A101 YOU ARE HERE［コミュニティセンター］

ご入居・レンタルスペースに関するお問い合わせ
冷泉荘事務局
092-985-4562
お気軽にお問い合わせください。

冷泉荘ギャラリー、2コ1多目的スペース、よりあい読書室は、利用内容に応じてサイズを変えられるレンタルスペース。
料金は1日4,400円～11,000円（税込）。
展示などで7日間のご利用には、お得な割引プランもございます。

サテライト冷泉荘	205	303
蝶和ビル（博多区店屋町4-8）	ARTAS GALLERY アートギャラリー	博多・町なかやきもん 松陶房 陶芸教室

駅前1丁目 ビル［3階］（博多駅前1-7-9）	辻ノ堂 ラウンジ スタジオオフィス

第16回 月光亭落語会「ドラゴンへの道の巻」

新春吉例！今回のタイトルは「ドラゴンへの道」。辰年にあやかって、ねえさんたちもブルース・リーばりに気合い十分。"Don't think,feel."な、めてえ新春初笑い、ぜひのお運びを。

日時：**1月7日**(日)［夜席］18:00開演（開場17:30）
8日(祝)［昼席］14:00開演（開場13:30）
［夜席］17:30開演（開場17:00）
場所：冷泉荘演芸場（B棟1階2コ1多目的スペース）
出演：月光亭愛眼（立石義江）／月光亭百幸（上田裕子）
月光亭久留米（杉山英美）／月光亭春吉（古賀今日子）
木戸銭：1,000円（自由席）
［ご予約］gekkoutei_2010@yahoo.co.jp
https://www.facebook.com/gekkoutei

中嶋工房 個展第5回「ヴンダー・カンマー（驚異の部屋）」

日時：**1月12日**(金)～**1月14日**(日)
12:00～19:00
（初日15:00～／最終日17:00まで）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
＊同時開催：ミニ四駆会 冷泉杯
（今回100円で特設コースが使用できます）
［X（旧Twitter）］ @Pandavid_com

おばけこどものプロル展 ～プロルが冷泉荘へやってきた！～

藤紫ショウのオリジナル漫画作品「おばけこどものプロル」作品展開催決定☆　おばけ森に住んでいる小さなおばけのプロル。毎日色んな経験をしながら一人前のおばけを目指して奮闘しています。健気で一生懸命なプロルを応援してね！作品展では、原画・ラフなどを展示、同人誌・グッズの販売をいたします。ほのぼの楽しい「プロル」の世界へどうぞお越しください☆

日時：**1月26日**(金)～**1月31日**(水)
12:00～19:00（最終日17時まで）
場所：B棟1階　冷泉荘ギャラリー
［藤紫ショウX（旧Twitter）］ @fuji__0829

M井の頭の中のナカ　9年目の最期

M井としての活動9年目、頭と心が大いに動いた一年でした。その一年間の振り返り展示をいたします。立体とも平面ともつかない曖昧な作品群に包まれて。『当たり前』の世界に擬態して生きているアナタが、少しだけ息が出来ることを願って。

日時：**1月12日**(金)～**1月14日**(日)
12:00～19:00（初日15:00～／最終日17:00まで）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
入場料：¥500（限定ステッカー付き）
［X（旧Twitter）］ @emui_no_hito

メンズポトレ展「僕たちが生きた瞬間」

花名りあ　×　Koki KANEKO
Hiroaki-Nagata　×　流星
まーちん　×　琥珀ユウ
希実高　×　しらす
新威龍樹　×　谷口健太
ふっしー　×　ナルまめ
朔未　×　ryo

日時：**2月2日**(金)～**2月5日**(月)
2日(金)13:00～18:30　3日(土)10:00～18:30
4日(日)10:00～18:00　5日(月)10:00～17:30
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー

Next Project #3「Prover -雨の雫 / 星のうた-」

2作品同時上演！
「Prover - 雨の雫」
生きる絶望、死への希望。この両の手を伸ばした先に何がある・・・
《出演》古賀覇月／水上初佳
「Prover - 星のうた」
かつて永遠を生きたものがいた。その者の名は・・・
《出演》平川未来／水上初佳

日時：**2月23日**(金)～**2月25日**(日)
23(金)15:30(星)、24(土)12:00(雨)／18:00(星)
2/25(日)12:00(雨[シャッフル公演])／15:30(雨)
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
チケット：一般2,800円／2作品通しチケット5,000円／サポーターチケット3,500円(特典付)／サポーター通しチケット6,500円(特典付)
［予約］https://next-project.jimdofree.com

column REIZENSOU　1月

ドネルモ伝 75

ひさしぶりの迷子篇

"つかのまの知覚、一瞬で消費されつくす出来事からなる世界のなかでは、何ものもしばらく静止して、本当の経験が頼みとする、あの深い記憶の痕跡を蓄積することがない"
ベンヤミン

先日、スマホを忘れた。「蘭館」という喫茶店で人と会う予定で、5年前に行ったし場所はわかるだろう…と思っていたが、駅に着いて困った。見当たらない。ぐるぐる歩き回っていると、地域のお店の名前が入った地図を見つけた。蘭館も地図にある。記憶では「駅のすぐそば」だったけど、7分ほど歩く距離にお店はあった。無事に着き、コーヒーでほっと一息。

こうやって地図を頼りに必死にたどり着くのは、久しぶりだった。15年ほど前、イタリアで、友人に教わったMeloというトラットリアを探し回ったことを思い出す。地図を指差して人に聞いては首をかしげられ、警察官にすら「○○通りのMelo？そんな通りは知らないね」と言われ、あきらめかけたときに見つけたうれしさ。料理の美味しさは忘れがたい。

今では、さっと検索し、迷うことなくたどり着いてしまうのも味気ないものだ。先日、箱崎を「詩人」として歩き回り、詩を書くワークショップを主催したが、プラプラと歩くことは楽しく、偶然に見つけた風景の愛おしさは格別だった。昔メモしていたベンヤミンの言葉を、ふと思い出す。道を歩くことも、「本当の経験」になっていないこの頃。たまには詩人になって、迷子になってみるのもいいかもしれない。

【今月の担当】渡邊めぐみ
（NPO法人ドネルモ スタッフ）

冷泉荘プロデース スペースRデザインの レトロビルこばなし

六本松一丁目の路地の中の木造戸建で「ハナコアパート」リノベーション工事中です。

1958年に住居用アパートとして建築された木造2階建の建物。事業用の建物として再始動することになりました。コンセプトは、「はじまりとはじまり」。ここでなにかをはじめる人を応援できるような、優しい場所を目指しています。

建築当時、六本松は九州大学生向けのアパートが多く建っていたエリア。この建物も、先代オーナーの花子さんが九州大学に通う女学生専用の住まいとして建築されたものです。当時はお風呂がないアパートが多かったそうで、この建物にもお風呂がなく入居者さんはまちの銭湯を利用していました。しかし時代の変遷とともに銭湯がなくなると、花子さんは入居者さんに自宅のお風呂を貸していました。建築当時から今まで、まちとともに歩み、入居者さんに寄り添い応援してきた建物。今回のリスタートにあたり、建物名は花子さんの想いを引き継ぎ、「ハナコアパート」へ。建物の歴史を引き継ぎ、まち、ひと、ものに寄り添う、優しい存在を目指します。

事業用の建物へ改修するにあたり、1階1戸、2階2戸の区画へ生まれ変わります。美容室、物販店舗、軽飲食、設計事務所、アトリエ等のご利用が可能。2024年1月リノベーション工事完成予定です。六本松のまちの中で、これまでも、これからも。「ハナコアパート」は関わるひとたちを優しく見守る場であり続けます。

スペースRデザイン しんの

space R design

SUKOYAKA ～ OHANA たち ラウレア発 103号

カオスの国の物語 ～神様も不思議！

hitoyo
（ラウレア・ヨガ&ピラティス スタジオ代表）

ヒンドゥー三大神をご紹介します。ブランハー／創造神、ヴィシュヌ／維持神、シヴァ／破壊神。インド人ですら数が多くて把握できない、というインドの神様は数百体とも言われています。よく、あなたはどの神様が好き？とか聞かれたりしますが、誰にでも持っている性質ですよね。私は、自分に持っていない性質のシヴァ神が大好き。インドに行った時もシヴァ神の像は沢山あって、興奮したものでした。あまりピンと来ない人は、「ガネーシャの父」です。ガネーシャって頭が象じゃないですか、なぜ？って感じですよね。

物語は複雑で色々な説がありますが、私が聞いたのは、シヴァ神の妻の、パールヴァティーが身体を洗った時に出た垢を集めて作った人形に命を吹き込んだのがガネーシャです。そして、シヴァ神がうちに帰った時に、知らない奴が家に居て、ちょっとパールヴァティーが浮気をしてると勘違いし、ガネーシャの首をはねたそうで、誤解が解けて自分の子供だと気づいてたまたまそこにいた象の首をはね、その頭をすえたというもの。めちゃくちゃですよね。インドはメチャクチャとか整理されていないという国ですからそれも「フーン」と頷ける。でもこのシヴァ神は破壊をして"ぶっ潰す!!"だけの神様じゃないんです。「ぶっ潰したら創造を生み出す」という逞しい性質があります。しかもこのシヴァ神の化身は沢山います。時代によって変わります。まさに整理されてないインドです。時系列やその物語がバラバラ。いわゆるカオス!!

独特な、世界感を持ったインドが懐かしくもあります。神様巡りをしてみたい。前回話した、バガバットギータのお話で、クリシュナという神様が出てきます。日本の大黒天がシヴァ神と言われています。あれ?なんだかまたイメージが変わった。大黒天って財福の神として、温和な姿の大黒様ですよね。いつも、インドの神様の話を知るたびに、面白い物語だわ～と思ってしまいます。それを読み解くなど大それたことは考えていませんが、私が??と思ったこと、そうなのね～と思ったことなど記していきましょう。マハーバラタというインドの長いながいお話しは、ガネーシャが書き留めたと言われています。とっても優秀な才能を持ち合わせた神様でした。さあこれから少しずつ神様を含めて、インドのお話進めていきましょう。

ズームイン靴！

しんねん

年に一度の新年です。毎朝目が覚めたらめでたいよ、と師匠は言っていましたが、人生においては数が限られている貴重な節目ではあります。竹は節目があることで、しなやかさと強度を持つことになっているそうで、よくできています。

教室で、革包丁で革を切ったり漉いたり（革の縁の厚みを減らす手法です）、靴型に革を沿わせるためにワニで革を引っ張ったりします。最初は手本を見てもらうと、簡単そうに見えるのに、と言われます。慣れてない人は、動きがデジタルな感じ、0、1、カクカク。慣れてくるとアナログな感じ、0～1、スムーズ。革を切るときは革が切れている感触を、引っ張るときは革が伸びている感触を、感じながら動いたらどうでしょう、と言ってますが実用的なアドバイスになっているでしょうか。

先日、蜜蝋ワックスづくりのワークショップに参加してきました。蜜蝋といえば、レザークラフトでは糸の処理に使ったり、革用のクリームとして市販されているものもあります。割りと馴染みのある材料のつもりでいたわけです。ワークショップでは蜂蜜の味見もありましたが、その蜂蜜と蜜蝋を作っている養蜂数十年の方のミツバチについての話がたいへん面白いものでした。一匹のハチが地球の磁場を感知するようなセンサーを持っていたり、巣を維持するのに、ものすごくシステマチックな働きがあるという話です。人間にもそういう微細な感覚があるとして、それを活かし切ることができたらどんな世界が見えるだろうとワクワクしてしまいました。蜜蝋ワックスは、オイルと蜜蝋を温めて混ぜ合わせるだけとはいえ、そんなミツバチと養蜂家の熟意の結晶みたいな蜜蝋で作ったワックスだと、革の手入れもずいぶん気分が違います。

本当によく生きたと思えるようなきっかけが、手作りすること、手作りしたものにはありそうではありませんか？蜂蜜のように濃密な時間を今年も過ごせるといいなぁと思っています。
（写真はワニという工具。持ち手がワニの口みたいでしょう？）

shoe lab noppo　黒木淳

まちづくり屋さんに聞く！ まち in 酒話

乳（NEW）でお酒を

ハッピーニューイヤー。新年は乳（NEW）の話を。なじみ深い乳と言えば牛乳ですね。日本の牛乳の歴史は古く、朝鮮半島から来た孫智聡（そんちそう）が、書物経典・仏像、仮面劇などの文化とともに牛乳の知識や生産方法を伝えました。その子の善那（ぜんな）が650年に孝徳天皇に牛乳を薬として献上しました。その子孫は典薬寮において乳長上（ちちのおきのかみ）という職に就きました。「牛乳のお医者さん」ですね。酪農場から税として献上されていました。

牛乳は保存がききません。よって加工技術も発達し、酪・酥・醍醐と加工を進めます。酪（ラク）はヨーグルト、酥（ソ）はバターのような物です。そして醍醐（ダイゴ）は最上級の乳製品です。「粘りがあり、色は白雲の如きにて、味はとても甘味がある」と絶賛されています。甘いのでキャラメルかもしれません。最上、素晴らしいものを表す醍醐味という言葉ではお馴染みです。

貴族の時代が終わると牛乳は廃れていきます。そして明治時代になると庶民の間でも利用されるようになります。現在でもそのまま飲んだり、料理に使ったりと愛用されています。コーヒー牛乳（2003年から乳飲料の表示に関する規約によりコーヒー牛乳の表記が使えなくなりました、よってコーヒー入り乳飲料などと表記されています）などの加工品も人気ですね。

牛乳とお酒で有名なのはカルアミルクです。甘くて飲みやすいカクテルです。年末年始（あと春）は牛乳の消費が落ち込む時期です。モ～1杯飲んで、自分も酪農も元気にしてみませんか。